

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 6 月 10 日

仕事の内容	子育てひろば事業		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 鈴木 礼子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施策番号	2 - 4	-		
【施策名】 児童福祉の推進				総合計画書 (ページ)	59			
予算名	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 4	子育て支援費	事業 3	子育てひろば事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 地域の子育て支援(小学生の年齢まで)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 0歳から12歳までの児童人口(平成31年4月1日)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 子どもを安心して産み育てることができる環境を整備する。 子ども達が心身ともに健やかに成長する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 相談者数・講座等参加者数			
	③ そのために何をしましたか。 市内私立保育園3園に委託して実施。事業については、市報、ホームページ、チラシ等で周知している。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ひろば開放回数・講座等開催回数			

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	9,886	9,706	9,558	
	成果指標	②の数値	人	108・9790	86・6,978	79・5441	
	目 標	②の目標値					
	目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	回	461・209	444・152	445・187	

3 経費	事業費(実績)		円	4,980,000	4,980,000	4,980,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,064,000	2,247,000	498,000	
		特定財源	円	2,916,000	2,733,000	4,482,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人				
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	4,980,000	4,980,000	4,980,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成13年度に大和南保育園、平成15年度に誠愛保育園、平成26年度に玉川上水保育園の合計3か所で実施。地域の子育て家庭への支援の場として整備。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成26年度中に玉川上水保育園で事業を開始したことにより、現在は市内の私立保育園3か所で実施。子育てひろば開放回数、相談者数、講座等参加者数は減少傾向にあった。	

仕 事 の 内 容	子育てひろば事業		
担当部署・課長名	子育て支援	課 子ども家庭支援センター 係	課長名 鈴木 礼子

5 市民等の意見
 この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
 市内地域分布を念頭に3保育園で委託している中、市民からは地域性に配慮した身近な「ひろば」は使いやすいとの声があった。

6 市民協働
 (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)

取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
--------	------	---

 (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点

7 課題
 (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
 サービスを提供できる場所に関して、市内での偏りが生じており、市民に対するサービス提供の機会均等が十分図られていないことが懸念される。
 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
 実施園については、積極的な運営をお願いした。また、その他の園についても園庭開放など、地域に開かれた施設としての役割を担ってもらった。
 (3)(2)を踏まえた今後の課題
 市民に対するサービス提供の機会等が拡大・充実することで地域での子育て環境の向上していくよう、引き続き私立保育園に協力・理解を求めていく。

8 今後の方向性
 (1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など)
 事業の利用促進を図るため、市民への広報活動を充実させる。また、実施施設の拡大に向けては、さらに私立保育園への協力を求めていく。
 (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
 ひろば事業の拡大については、相当の予算規模(補助金対象経費)となることから、改めて部内での方針決定、予算措置を経たのち、私立保育園園長会を通じて、新規事業として各園の導入可否に関する検討依頼を行う必要がある。
 (3)改革・改善案による期待成果
 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------